



わかば

学校だより 2月号
No.14
令和5年1月31日
柏市立柏第三小学校
校長 大森 千恵子

寒さに負けず元気よく

2月



暦の上ではまもなく立春ですが、寒さの厳しい日が続いております。そのような中でも、日中の日差しは心地よく、子どもたちは、なわ跳びやドッジボールと、元気に外遊びをしています。インフルエンザも含め感染症予防は、未だに気を抜けない状況が続いておりますが、2月の教育活動についても、基本的な感染症対策を十分行いつつ、様々な教育活動を行って参ります。

なお、2月16日（木）、17日（金）は、本年度最後の授業参観・懇談会を予定しております。授業の様子を通してお子様の成長を御覧いただき、学級担任と次年度に向けての情報を共有していただければと思います。よろしくお願いたします。

本年度の教育活動について 1（4～6年）

本年度は、「チャレンジ」を合い言葉に、感染症対策を行いつつ、それぞれの学年で様々な学習を行ってきました。学習の様子を、一部ご紹介いたします。

【4年】

本年度は、「目標に向かって、心を一つに合わせてがんばること」を大切にして学年経営を行ってきました。

・「初めてのクラブ活動」

自分が好きなことに取り組めるクラブ活動。上級生と一緒に活動します。「今日はクラブがある、やった～！」と楽しみにしています。

・「版画教室」

画家の大野先生に初めて使用する彫刻刀の使い方を教えていただきました。あっという間にコツをつかんで、夢中になって彫っていました。

・「プログラミングの授業」

新しく4年生で学ぶことになったプログラミング。スクラッチを使って学習しました。すでに慣れている子も多く、担任の先生に教えてくれる子もいましたよ。



「初めてのクラブ活動」



「版画教室」



「プログラミング」

【5年】

本年度は、「礼儀・感謝・思いやり」を大切にして学年経営を行ってきました。

・「落ち葉はきボランティア」

日々使用している学校をきれいにしようと、毎朝交替で正門付近の落ち葉を掃除するボランティア活動をしました。

・「キャリア教育学習会」

総合的な学習の時間に取り組んだ「仕事」をテーマに、自分たちの興味を持った仕事の分野の話をしたり、地域の方に「働く」ということについて様々な話を聞いたりして、有意義な学習活動を行うことができました。

・「家庭科・ミシンでソーイング」

保護者の方に手伝ってもらいながら、初めてミシンを使ってエプロンを作りました。また、調理実習の学習時にはこの学習で作ったエプロンを使用して調理をしました。



「落ち葉はきボランティア」

「キャリア教育学習会」

「家庭科・ミシンでソーイング」

【6年】

本年度は、「探求」を大切にして学年経営を行ってきました。「科学・街づくりプロジェクト」という総合的な学習の時間に、国語科や社会科で学んだことを活かして、自分たちの街の良さやその街について探求してきました。本校の学校運営協議会の方々のお力で次のような体験活動を実施することができました。子ども達は実際に社会で活躍されているの方々のお話を真剣に聞いて、学びが深まっていきました。

・「町会長さんと対話」

「私たちの街の未来」について、町会長さんと意見交換をしました。子どもたちは町会長さんたちのお話を聞き、自分たちの街についてさらに深く考えるようになりました。

・「レイソルしま専科」

柏レイソルの選手たちから、プロサッカー選手になるまでの苦労や努力を知ることができました。自分たちのこれから努力すべきことに大きな影響を受けました。

・「キャリア講話」

私たちの街で働く様々な職業の方から話を聞きました。仕事のやりがいやその仕事に就くまでに必要なことを聞き、街の支える仕事について深く知ることができました。



「町会長さんと対話」

「レイソルしま専科」

「キャリア講話」